

議案の紹介

今定例会に提出された議案22件全てが可決されました。(8面の賛否一覧表を参照)以下、成立した議案の一部を紹介します。「名誉市民の称号を贈るもの」については7面を、議員提案の「市長専決処分事項の一部改正」については8面をご覧ください。

補正予算
平成十六年度一般会計 小学校建設費の追加、大学整備促進に要する経費の減額等による約二億円の追加

条例など
職員の通勤手当を支給単位期間ごとに支給することに關し必要な事項を定めるとともに、教育職の職員の昇給停止を実施する

年齢を引き下げたもの、地方税法の改正により新たに個人の市民税の均等割を課される者に対し、均等割の税率の軽減措置を講ずる等のもの、かき処理場設置許可申請手数料等を定める等のもの、地区計画の区域内の建築物に関する制限を定める等のもの、非常勤消防団員に係る退職報酬金の支給額を引き上げるもの、喫煙等をしてはならない場所を有する防火対象物を、全面禁煙とする場合の措置等を定めるもの、

市道荻巻道線とJR仙山線との立体交差部増設工事の委託契約(仮称)宮城野区体育館等の用地を取得するもの、
天文台移転用地を取得するもの、
国見六丁目・貝ヶ森二丁目町の区域の変更に関するもの

本市の区域内における名取市福祉パスの路線の設置に係るもの、都市基盤整備公団が都市計画道路長町折立線の新設工事を施行することに關し、市が同意することにつき議決を求めるもの、
市道路線の認定等に関するもの、
消防団員等公務災害補償条例の補償基礎額並びに介護補償の最高額及び最低額を改定するもの、
小田滋氏及び一力一夫氏に名誉市民の称号を贈るもの

人事
仙台市固定資産評価員の選任
栗村 渉
仙台市資産等公開審査会の委員の委嘱
辻村 みよ子
吉原 和志
須藤 裕州
佐久間 敬子
勝又 至子

みらい台

熊谷 善夫 議員

問 学都仙台としての東北文化学園大学への支援策

答 大学再建には大学側の努力が基本であるが、当然だが、地域としても学生の教育機会の確保に可能な限り努力する。

学都仙台としての東北文化学園大学への支援策
学都仙台としての東北文化学園大学への支援策
学都仙台としての東北文化学園大学への支援策



北四番丁岩切線(宮城野区)

岩切線踏切を拡幅し、併せて踏切東側の未整備区間の工事を進め、平成十八年度末の全線供用開始を目指している。

問 都市計画道路北四番丁岩切線は新石巻街道踏切がネックとなり四六時中渋滞している。事業の進捗率と今後の見通しを伺う。

答 平成十五年度末での進捗状況は事業費ベースで約90%となっている。今年度より二力年で新石巻街道踏切を拡幅し、併せて踏切東側の未整備区間の工事を進め、平成十八年度末の全線供用開始を目指している。

その他の主な質疑項目
新天文台整備のPFI事業におけるBOT方式の採用の理由について
消防と救急の機能を併せ備えた車両導入への考えについて
JR仙山線の高架化について

代表質疑

公明党

山口 津世子 議員

問 希望と安心安全のまちづくりも市民の人間性をいかに守り育てるのか

答 平和な社会の実現は、人類共通の願いであり、教育こそ平和へのスタートである。教育とは人間の育成にほかならず、自他と

問 平成十七年度介護保険制度見直しに向けた本市としての取り組みを伺う。また、介護予防の取り組みについてどう考えるか。

答 介護保険制度は、制度開始五年を目前に、制度全般について諸課題の検討が行われている。個別の見直しの内容については、未だ国の方針は示されていないが、制度の見直しに関しては、実際の制度の運営状況などを踏まえて、今後ともあらゆる機会を通じて、国に対し意見を伝えていく。



地域単位での介護予防活動

介護予防については、地域単位での活動が重要であり、本年9月からは宮城野区鶴ヶ谷地区において、介護予防地域ケア推進事業を行うこととしている。

介護予防については、地域単位での活動が重要であり、本年9月からは宮城野区鶴ヶ谷地区において、介護予防地域ケア推進事業を行うこととしている。

社民党

辻 隆一 議員

問 東北文化学園大学の支援策

答 今回の事例は想定を超えるもので完全なチェックは困難だが、今後事件を教訓としてあら

ゆる可能な手立てを検討する。市としても大学再建が重要な課題であり、学生の教育機会確保を最優先すべきと考える。大学側の再建への努力が基本だが、市としてなする支援に全力を傾ける。

市としての支援策について
市としての支援策について
市としての支援策について



学生への支援が求められる東北文化学園大学(青葉区)

市としての支援策について
市としての支援策について
市としての支援策について

日本共産党

ふるくぼ 和子 議員

問 「東北文化学園大学」の学生

答 学生の教育機会の確保は重

問 PFIは市の財政に重い後年度負担をもたらす

答 PFIは、厳しい財政状況



現代文台(青葉区)

下で市民にとって必要な事業を推進する有効な事業手法の一つと考えている。市民に対して適時・適切に分かりやすい情報を提供できるように努力していく。運営については、事業者に対し、職員が資質の向上に努めるよう求めるとともに、それを可能とする職場環境の整備、定期的な研修などを求めることにより、天文台職員としての質の高さを十分に保てる。

仙台・グローバル

岡部 恒司 議員

問 情報入手に極めて不利な立場にある聴覚障害者の方々に

答 地震が発生した際、聴覚障

問 県道仙台泉線の街路樹について

答 バリアフリーに対応する歩



視点から、街路樹のあり方について

視点から、街路樹のあり方について
視点から、街路樹のあり方について
視点から、街路樹のあり方について

フォーラム台

横田 匡人 議員

問 指導力不足の教員について

答 児童生徒の心情に配慮を欠

問 これまで以上に厳しい行財政

答 効率的、効果的な行政運営



デイホスピス施設(太白区)

であり、市では所管する全ての事務事業を体系化し評価する業務マネジメント表を作成している。今後市民の皆様の見解や、他自治体の先進的な部分等も取り入れながら事業評価に取り組みたい。その他の主な質疑項目
文化学園大学生の就学について
地域型デイホスピス事業に期待子どもや学校側に配慮したセンター給食の運営を求む

自由民主党

野田 譲 議員

問 大学整備促進について

答 東北文化学園大学の問題に

厳正に対処していく一方、学生の教育機会を守ることを最優先の課題とし、市として取り組んでいく。大学整備促進補助制度は、就学機会の拡充や、地元高校生の進学率の向上につながるなど、一定の成果を挙げることができた。一方、十八歳人口の減少傾向など制度創設時から社会状況も変化しており、今後は、大学の知的資産の集積を地域に生かす取り組みへの支援という視点を含め、来年度からの新制度実施を目標に見直しを進めていきたい。



宮城野原総合運動場(宮城野区)

問 宮城野原総合運動場に関する

整備事業について

議案に対する各党派の代表質疑と答弁の要旨などを掲載しています。